

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

経営支援の効果的な実施に向け、平成 30 年度から令和 2 年度に専門家派遣や経営サポート会議の経営支援メニューを利用した 77 企業を対象に、うち財務データの得られた 68 企業について、効果検証を実施した。

（検証を行う経営支援メニュー）

- ・ 専門家派遣事業（国，協会独自）…53 企業
- ・ 経営サポート会議 …24 企業

※よろず支援拠点と連携して行う「まるっと経営支援プロジェクト」と、かごしま中小企業支援ネットワーク内に設置された経営改善支援連絡会議で行う「ゼロゼロ融資先収益力改善プロジェクト(ゼロプロ)」については、検証が可能となる令和 8 年度以降に実施する。

検証方法は、経営支援を実施した決算期を 0 期目とし、経営支援前（▲1 期）と経営支援後（3～5 期目となる令和 5 年度の決算）の「売上高増加率」「営業利益率」を比較。良化している場合は+1，悪化している場合は-1 とし、企業ごとにその合計を求め、プラスの場合は「業況好転企業」、ゼロの場合は「横ばい企業」、マイナスの場合は「業況悪化企業」と分類した。

「業況好転企業」と「横ばい企業」を合算した割合が 7 割以上を目標値としており、検証の結果、専門家派遣事業，経営サポート会議いずれにおいても、目標値を達成していることを確認した。

【効果検証結果】

(単位：企業，%)						(単位：%)	
	業況好転		横ばい		業況悪化		業況好転+横ばい
専門家派遣事業	20	44.4	13	28.9	12	26.7	73.3
経営サポート会議	7	30.4	12	52.2	4	17.4	82.6